当資料は、2026 年 10 月 21 日に米国で発表されたプレスリリースの抄訳版です。
米国リリース原文：https://www.dell.com/en-us/dt/corporate/newsroom/announcements/detailpage.press-releases~usa~2026~10~dell-technologies-and-nvidia-advance-enterprise-agentic-ai-from-the-deskside-to-data-center.htm#/filter-on/Country:en-us

2026 年 10 月 22 日
デル・テクノロジーズ株式会社

デル・テクノロジーズ、NVIDIA とともにエンタープライズ向けエージェンティック AI をデスクサイドからデータセンターまで拡張

「Dell AI Factory with NVIDIA」の新たなイノベーションにより、企業がエージェント、データ、モデル、オペレーション全体を安全に管理しながら、自社の条件で AI を構築できる環境を提供

- **エンタープライズ AI の本格運用を加速：**6,500 社を超える企業が「Dell AI Factory with NVIDIA」を採用し、AI プロジェクトを実験段階から本番運用へ移行
- **オープンなエコシステムで成果創出を支援：**新たなソリューションと検証済みブループリントにより、企業が自社で所有・管理するインフラ上で、PoC（概念実証）から本番導入へ低リスクで移行できる道筋を提供
- **デスクサイドでエージェンティック AI を拡張：**「Dell Deskside Agentic AI」により検証済みのリファレンステンプレートを拡充し、開発者 1 名の環境から 1,000 台超のシステムを展開する全社規模まで、自律型 AI の拡張を支援
- **AI 向けに最適化された専用インフラ：**新たなモジュラー型データセンターとコンピュートプラットフォームにより、企業が AI 処理能力を拡張するための性能と柔軟性を提供

2026 年 10 月 21 日、ベルリン『NVIDIA GTC』発：
デル・テクノロジーズは、「Dell AI Factory with NVIDIA」の大規模な機能拡張を発表しました。今回の発表には、AI ソリューションおよびエコシステムの強化、新たなデスクサイド向けエージェンティック AI ソリューションと AI 専用に設計されたインフラが含まれます。これにより企業は、自社で所有・管理するインフラ上で、エージェンティック AI を実験段階から本番運用へと移行できるようになります。「Dell AI Factory with NVIDIA」の導入企業数は前四半期の 5,000 から 6,500 超に拡大しており (*1)、デル・テクノロジーズはこのエンドツーエンドのアプローチが測定可能なビジネス成果をもたらすことを引き続き示しています。

重要性：
エンタープライズ向けエージェンティック AI は、2028 年までに最大のワークロードになると見込まれており、2030 年までに生成 AI の約 3 倍の速さで成長すると予測されています(*2)。しかしながら、成長そのものは成果を保証するわけではなく、全体像の一部を示しているにすぎません。その実態を物語るのが、トークンエコノミクスです。

推論コストは 2030 年までに 90%以上低下すると見込まれる一方、エージェンティック AI によるトークン消費量は 24 倍に増加すると予測されています(*3)。企業が投資効果を最大化するためにリソースを見直す中、59%の企業が

ROI（投資収益率）の不透明さを AI 導入における最大の障壁として挙げています(*4)。また、83%が、AI パートナーの選定においては AI ライフサイクル全体を通じたエンドツーエンドのベンダー支援を最優先事項としています(*5)。

AI インフラを自社で保有する企業は、そのコスト、データ、オペレーションの管理を、パブリッククラウドのみに依存するアプローチでは実現できない形で維持できます。「Dell AI Factory」は、2 年間でパブリッククラウドと比較して最大 90%優れたコスト効率を実現可能です(*6)。しかし、所有とコストだけでは十分ではありません。企業には、適切なツール選定、性能監視、ポリシー適用、コスト管理を拡張に応じて行える AI 基盤が必要です。これにより、ROI とパフォーマンスの両立を図ることができます。

「Dell AI Factory with NVIDIA」は、まさにその解決策を提供します。業界で最も幅広い AI ポートフォリオ(*7)を備えた信頼できるパートナーとして、検証済みソリューション、拡大するオープンエコシステム、専門サービス、そして AI 対応のエンドツーエンドのデータ基盤を通じて、企業がパイロットから本番環境へと確信を持って移行できるよう支援します。

検証済みの AI ソリューションとサービスにより、成果創出を加速：
エージェンティック AI をビジネス成果につなげるには、モデルだけでは不十分です。「Dell AI Factory with NVIDIA」は、デル・テクノロジーズが設計したシステム、ソフトウェア、自動化技術と、主要 AI ソフトウェアによる検証済みのオープンエコシステムを組み合わせた、安全で統合性の高い AI ソリューションを提供します。これにより企業は、自ら所有・管理するインフラ上で、実証済みの AI 成果をより迅速かつ低リスクで導入できます。

Reflection の Beam オープンウェイトモデルは、「Dell AI Factory with NVIDIA」上で検証済みとなりました。これにより企業は、自ら管理するインフラ上で、ソフトウェアエンジニアリングや長期的なエージェント型タスク向けに最適化された、Apache 2.0 ライセンスによる先進的なオープンウェイトモデルを活用できます。「Dell AI Ecosystem Program」によって提供される新たな検証済みソリューションおよび機能強化により、企業はさまざまな重要業務向けに、AI 活用を迅速に推進できます。具体的には、Dynatrace による **AI observability**、Mistral による **knowledge assistant** およびエージェンティック AI プラットフォーム、Fogsphere による **computer vision** などに対応しています。さらに、**SUSE Linux** の追加をはじめ、モデル、AI アプリケーション、オペレーティングシステムまでをカバーする「Dell AI Factory with NVIDIA」は、AI ソフトウェアスタック全体にわたる柔軟な選択肢を提供します。

AI エージェントの活用を推進するには、安全性と拡張性を備えた基盤が不可欠です。デル・テクノロジーズは、「Dell AI Factory with NVIDIA」を基盤とする多層的なセキュリティ アーキテクチャーを提供しています。検証済みのハードウェアベースのインフラストラクチャーに加え、プラットフォーム運用を管理する Red Hat AI Factory ソフトウェアと、ランタイムのガバナンスを実現する NVIDIA OpenShell Reference Architecture を組み合わせたものです。このアプローチは、ランタイム、ネットワーク、データ、インフラストラクチャーの各層を保護し、企業が自律型 AI エージェントを安全かつ大規模に展開・運用できるよう支援します。

しかし、適切なソリューションを導入するだけでは十分ではありません。「**Dell Managed Services for AI**」は、パイロットから本番運用へと拡張する過程で、リソース最適化、アクセス統制、AI 利用量およびコスト管理を強化するよう支援します。開発チームは AI リソースに対する安全なセルフサービスアクセスを得る一方、IT 部門は必要なガバナンスと財務統制を維持できます。

エージェンティック AI をデスクサイドへ拡張：
真の進展は、人々が実際に働く現場から始まります。すでに 81%の企業が PC 導入の計画、試験運用、または展開に着手しており(*8)、デスクサイドはエンタープライズ AI アーキテクチャーにおける重要な要素となりつつあります。高まる需要に対応するため、デル・テクノロジーズは、検証済みのリファレンス導入テンプレート群を新たに追加し、「Dell Deskside Agentic AI」を拡充します。「**Dell Deskside Agentic AI Solutions for NVIDIA**」は、エージェンティック AI ワークフローの拡張に伴う不確実性を解消します。各ブループリントでは、エージェンティック コーディング、エージェンティック VSS、NVIDIA NemoClaw、NemoClaw 上の Hermes Agent、高等教育向け AI ラボ基盤などのユースケースを実行するために必要なハードウェア、AI モデル、ソフトウェア スタックを定義しています。これにより、企業は開発者 1 名レベルから、1,000 台超のシステムを展開する全社規模まで安全にスケールできます。

また、「Dell Deskside Agentic AI」のハードウェアラインアップも拡充します。「Dell Pro Precision with GB10」は、個々の開発者や小規模チームに適した 64GB ユニファイドメモリ構成で提供されます。同製品は、ローカル環境でのエージェンティック AI 開発を容易にし、主要なオープンウェイト モデルの実行を可能にします。さらに、2 台または 4 台のシステムをクラスター化することで、より大規模なモデルや多数の AI エージェント、複雑な AI ワークフローまで柔軟にスケールできます。さらに、Windows 対応モデルとして提供予定の「Dell Pro Precision with GB300」は、企業がすでに管理している Windows 環境で、最大 748GB のコヒーレントメモリと 20 ペタフロップスの FP4 演算性能をデスク上にもたらします。

大規模 AI 向けに設計された専用インフラ：
エージェンティック AI をはじめとする AI ワークロードの増加に伴い、デル・テクノロジーズの新たなプラットフォームは、高密度かつ高効率なコンピュート性能を提供し、企業が安心して拡張できる環境を実現します。これらの追加により、企業は高まるトークン需要の経済性に対応しながら、AI 処理能力を柔軟かつ高性能に拡張できます。

- **工場で統合された完全な“AI in a container”：**
  AI 処理能力への需要が高まり、初回成果物生成までの時間が競争優位となる中、モジュラー型インフラは重要な選択肢となります。デル・テクノロジーズの長年にわたるモジュラー型データセンター技術を基盤として、「Dell Modular Data Center with NVIDIA DSX POD」は、包括的な AI 基盤を提供するリファレンスデザインです。このコンテナ型「Dell AI Factory」には、コンピュート、ストレージ、ネットワーク、ラックレベルの電源、水冷機構が含まれます。企業は、事前に準備した電源へ接続して利用開始でき、現地での統合作業を大幅に簡素化できます。これらのシステムは、統合、検証、提供、導入、ライフサイクル全体の管理において 20 年以上にわたるデル・テクノロジーズの技術力と知見に支えられています。
- **CPU ベースのエージェンティック AI 実行：**
  「Dell PowerEdge M9882」サーバーは、単一の 48U ラックに 256 基の NVIDIA Vera CPU を搭載し、モデル推論向け GPU インフラと併用して、オーケストレーション、ツール利用、コード実行、評価といったエージェント型ワークロードの実行向けに設計されています。CPU 処理を GPU クラスターと分離して行うことで、企業は混合用途のサーバーを過剰に導入するなく、NVIDIA Vera CPU Rack を導入してデータセンターの電力と冷却容量を最大限に活用でき、複雑性を抑えながら自信を持って拡張できます。
- **一般的なエンタープライズ向けエージェンティック AI：**
  「Dell PowerEdge R8822」サーバーは、標準的な 19 インチラック環境向けに、空冷式の 2 ソケット NVIDIA Vera CPU 性能を提供します。エージェントオーケストレーションやサンドボックス化といったエージェ

ンティック AI ワークロードに最適化されているほか、強化学習、データ処理、分析にも対応し、最大 4 基のダブルワイド GPU をサポートすることで、AI および高負荷コンピュートタスクを加速します。

- **大規模環境向け高スループット推論：**
  「Dell PowerEdge XE9810」は、Groq 3 Language Processing Units（LPU）を搭載した 16 台の直接水冷式コンピュートトレイによるラックスケール推論を提供する、初めてのサーバーです。NVIDIA LPU ベースの推論は、既存の GPU クラスターを補完する分離型の選択肢として、高スループットが求められる本番環境のエージェンティック AI に適しています。
- **ネットワークエッジにおける AI：**
  通信ネットワークは、それ自体が AI ネットワークへと進化しつつあります。モバイル AI トラフィックの増加に伴い、「Dell PowerEdge」サーバー上で稼働する新しい NVIDIA Aerial RAN Computer（ARC）プラットフォームは、通信サービスプロバイダーに対し、ネットワークエッジで AI を処理するためのブループリントを提供します。これにより、RAN ワークロードと AI ワークロードを別々のサイロ化されたシステムで動かすのではなく、同一のコンピュート基盤上で共存させることができ、総所有コストを削減するとともに運用を簡素化します。

コメント：

デル・テクノロジーズ 会長 兼 最高経営責任者（CEO）マイケル デルは、次のようにコメントしています。「これまで企業は、AI インフラを IT 予算上の課題として捉えていました。しかし、その考え方は変わりました。AI インフラはもはやコストセンターではなく、価値創出の中心です。企業は、AI インフラが成長、生産性、競争優位を生み出すことを踏まえ、予算の拡充と再配分を進めています。NVIDIA とともに、私たちは企業に対して、エージェンティック AI を実験から成果へと移行させるために必要な統合プラットフォームを、自社で所有・管理できるインフラ上で提供していきます」。

NVIDIA 創業者 / CEO ジェンスン フアン（Jensen Huang）氏は、次のようにコメントしています。「AI エージェントがリーズニングし、ツールを活用し、学習することが求められます。そのためには、新しい種類のコンピューティング基盤が必要です。デル・テクノロジーズと NVIDIA は、デスクサイドからデータセンターに至るまで、AI 時代に向けたコンピューティング基盤を共同で構築しています。これにより、企業は産業規模で AI エージェントを安全に構築・運用できるようになります」。

Moor Insights & Strategy バイス プレジデント 兼 プリンシパル アナリスト マット・キンボール（Matt Kimball）氏は、次のようにコメントしています。「市場は新たな段階に入りつつあります。お客様の関心は、測定可能なビジネス成果の創出へと移っています。『Dell AI Factory with NVIDIA』の継続的な拡充は、検証済みソリューション、エコシステム統合、自動化、そしてサービスを組み合わせた成熟したアプローチを示しています。これにより企業は、より高い確信と低いリスクで AI を導入・運用できるようになります」。

提供時期：

- Reflection の Beam モデルは、「Dell AI Factory with NVIDIA」ですでに利用可能です。
- AI observability with Dynatrace は、2026 年第 4 四半期より「Dell AI Factory with NVIDIA」で提供開始予定です。
- Knowledge assistant and the agentic AI platform with Mistral は、「Dell AI Factory with NVIDIA」にてすでに利用可能です。

- Computer vision with Fogsphere は、2026 年第 4 四半期より「Dell AI Factory with NVIDIA」で提供開始予定です。
- SUSE Linux は、2027 年第 1 四半期初旬より、「Dell AI Factory with NVIDIA」向けのオペレーティングシステムとして提供開始予定です。
- 「Dell Managed Services for AI」は、2027 年第 1 四半期に提供開始予定です。
- 「Dell Deskside Agentic AI Solutions for NVIDIA」は現在、GitHub 上で提供中です。
- 「Dell Pro Precision with GB10（64GB 構成）」は、10 月 23 日より提供開始予定です。
- 「Dell Pro Precision with GB300」は、近日提供開始予定です。
  ※日本国内での提供開始時期は異なります。
- 「Dell Modular Data Center with NVIDIA DSX Reference Design」は、2027 年初頭に提供開始予定です。
- 「PowerEdge M9882」は、2027 年第 1 四半期に提供開始予定です。
- 「PowerEdge R8822」は、2026 年 10 月中に提供開始予定です。
- 「PowerEdge XE9810」は、2027 年第 1 四半期に提供開始予定です。
- 「Dell PowerEdge」上で動作する NVIDIA Aerial RAN Computer（ARC）フレームワークは、近日提供開始予定です。

*1. デル・テクノロジーズによる顧客受注データの分析に基づく（2026 年 8 月）

*2. Omdia「Omdia Assesses Digital Service Groups' Transformation Capability in the 2026 Agentic Economy」（2026 年 6 月）

*3. ゴールドマン・サックス「AI Agents Forecast to Boost Tech Cash Flow as Usage Soars」（2026 年 5 月）、および Gartner「Navigating the Commoditization Trap as Token Costs Fall by Over 90% Through 2030」（2026 年 3 月）

*4. UBS「Corporate AI Survey」（2025 年 12 月）

*5. デル・テクノロジーズ　最高戦略責任者（Chief Strategy Office）によるエンタープライズ AI 導入調査（米国の調査結果）、2024 年 11 月。回答者数 1,661 名（IT 意思決定者 1,302 名、AI 実務担当者 359 名を含む）

*6. Signal65 および Futurum Group による検証済み分析「The Economics of Agentic AI」（2026 年 9 月）に基づく。削減効果は、2 年間の導入を想定した試算です。対象は、エージェンティック AI で支援される一般ナレッジ業務、営業、ソフトウェア開発の各ワークロードに、デル・テクノロジーズの各種デスクサイドおよびデータセンター ソリューションを使用した場合です。分析には、推定されるクラウド割引のほか、インフラのホスティング、エネルギー、インフラ管理、デル・テクノロジーズのサポートサービスに係るコストを含みます。結果は個々の環境により異なる場合があります。

*7. デル・テクノロジーズの委託により Prowess Consulting が作成した調査レポート「Which Vendor Offers the **Broadest** AI Portfolio for Scalable Innovation?」（2025 年 10 月）に基づく。

*8. IDC ホワイトペーパー、ゴールドマン・サックス「AI Agents Forecast to Boost Tech Cash Flow as Usage Soars」（2026 年 5 月）および Gartner「Navigating the Commoditization Trap as Token Costs Fall by Over 90% Through 2030」（2026 年 3 月）、AMD 提供「The AI PC: Ready for Today's On-Device Workloads and Tomorrow's Agent-Centered Requirements」（Doc #US54439326-WP、2026 年 4 月）

###

■デル・テクノロジーズについて

デル・テクノロジーズは、企業や人々がデジタルの未来を築き、仕事や生活、エンターテイメントのあり方を変革することを支援します。AI 時代に向けて、業界で最も包括的かつ革新的なテクノロジーとサービスのポートフォリオをお客様に提供しています。